

新規就農先輩の軌跡 No.123

<p>新規就農者の素顔</p>  <p>氏名：田邊 貴之 <small>たなべ たかゆき</small></p> <p>住所：佐用郡佐用町横坂釜ヶ淵</p> <p>年齢：34歳</p>	<p>農業経営の状況（現在）</p> <p>農地：30a（借地30a）</p> <p>施設：ビニールハウス 1,700㎡ 本ぽ：1,400㎡、育苗：300㎡</p> <p>経営内容：施設いちご14a</p> <p>労働力：本人、両親、妹、臨時雇用3名</p> <p>出荷先：JA直売所、スーパー、パン屋等</p> <p>設備：高設ベンチ、温風暖房機、灌水・培地加温装置、内張りカーテン、循環扇、換気装置、プロファイターⅢ、炭酸ガス発生装置 等</p>  <p>本ぽの様子</p>
<p>就農から現在まで</p> <p>2006年 兵庫県農業大学校卒業 野菜を専攻、卒業論文の対象作物はいちご。</p> <p>2006年 有限会社兵庫ファーム入社。 野菜部門担当でいちご栽培に携わる。</p> <p>2015年1月 独立就農し現在に至る。</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p> <p>○良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> 独立就農すると自分が経営者。自分の責任で仕事をするため、拘束感がなく自由。自分の生産したものに自分で価値をつけられること。 <p>○苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> 収穫のタイミングに合わせた営業が難しい。いちごの収穫に端境期が生じたときに、注文に応じられないこと。
<p>農業をめざした動機</p> <p>○農業をめざした動機</p> <ul style="list-style-type: none"> 家は兼業農家で、高校に入る前から農業を志向していた。自分でつくった農産物を食べて喜んでもらいたかった。 <p>○いちごを選択した動機</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の人と違うものをつくることで、自分のつくるものに自分で価値をつけて販売したかった。 	<p>後輩へ贈る言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業はサラリーマンとは違います。 やりたいことを絞り、情報収集しましょう。 就農地の環境（気温、日照、風当たり、土質、水の確保等）をよく把握してこれを踏まえた上で設備投資など、計画を練りましょう。